

◆ News Release ◆

株式会社阪急交通社

阪急交通社グループ 旅行概況(2月分)について

2022年2月の旅行取扱実績について、下記のとおりお知らせします。

株式会社阪急交通社

(単位:千円)

区 分	取扱高	前年 同月取扱高	前年 同月比	前々年 同月取扱高	前々年 同月比
海外旅行	7,544	-3,523	—	8,170,221	0.1%
外国人旅行	0	0	—	62,761	—
国内旅行	1,572,266	286,772	548.3%	6,613,816	23.8%
合 計	1,579,810	283,249	557.7%	14,846,798	10.6%

※今年度は、前々年比(2019年度)を記載しております。

【概況】

2月の旅行概況は、総取扱額15億7,981万円、前々年比10.6%となりました。

海外旅行は、日本から海外への渡航制限の継続により、募集型企画旅行の催行を引き続き中止したため低調でした。

国内ではオミクロン株による感染拡大がピークを迎え、全国の一日の新規感染者数が2月初旬に10万人を超えて過去最多となりました。これに伴い、まん延防止等重点措置が36都道府県に発出され、国内旅行は全方面で大きく影響を受けました。取扱高は、前年を上回りましたが、前々年比では23.8%に留まりました。

## 株式会社阪急阪神ビジネストラベル

(単位:千円)

区 分	取扱高	前年 同月取扱高	前年 同月比	前々年 同月取扱高	前々年 同月比
海外旅行	621,651	314,467	197.7%	1,554,839	40.0%
外国人旅行	0	0	—	27483	—
国内旅行	54,655	47,750	114.5%	162,683	33.6%
合 計	676,307	362,217	186.7%	1,745,006	38.8%

### 【概況】

2月の旅行概況は、総取扱額6億7,630万7千円、前々年比38.8%となりました。

海外旅行は、新規受注による取扱いが増加傾向にありましたが、オミクロン株の感染拡大による入国制限等、水際対策が継続されたこともあり、需要の回復には至りませんでした。

国内旅行は、まん延防止等重点措置の対象地域が広がり、企業の出張需要は停滞しました。

## 阪神トラベル・インターナショナル株式会社

(単位:千円)

区 分	取扱高	前年 同月取扱高	前年 同月比	前々年 同月取扱高	前々年 同月比
海外旅行	15,739	7,189	218.9%	132,713	11.9%
外国人旅行	0	0	—	0	—
国内旅行	2,141	2,360	90.7%	1,585	135.1%
合 計	17,880	9,550	187.2%	134,298	13.3%

### 【概況】

2月の旅行概況は、総取扱額1,788万円、前々年比13.3%となりました。

## グループ3社合計旅行取扱額

株式会社阪急交通社、株式会社阪急阪神ビジネストラベル、阪神トラベル・インターナショナル株式会社

(単位:千円)

区 分	取扱高	前年 同月取扱高	前年 同月比	前々年 同月取扱高	前々年 同月比
海外旅行	627,681	311,978	201.2%	9,700,991	6.5%
外国人旅行	0	0	—	90,244	—
国内旅行	1,615,431	320,294	504.4%	6,718,983	24.0%
合 計	2,243,112	632,272	354.8%	16,510,218	13.6%

\*グループ内取引を相殺したものです。

<本件に関するお問い合わせ先>

株式会社阪急交通社 広報部

〒105-0004 東京都港区新橋3-3-9 TEL:03-6745-7333 / FAX:03-6745-7351

〒530-0001 大阪市北区梅田2-5-25 TEL:06-4795-5711 / FAX:06-4795-5724